

お金の心配なく、必要な医療が受けられるように

## 国保一部負担金減免問題 緊急オンライン学習会

新自由主義政策の下、貧困化広がり、コロナ災害によって、道民の命と健康が脅かされています。経済的理由で受診が遅れ症状を悪化させ、亡くなる事例も生まれています。医療費の一部負担金を軽減、無料にする運動も求められていますが、当面、現在ある国保44条に基づく、市町村の判断による一部負担金減免制度の拡充が求められています。

北海道は、国保の都道府県単位化の一環として、一部負担金減免要綱の標準例を市町村に公表しました。しかし、その内容は、通院や保険薬局の薬代などが対象にならない低いなど問題もあります。現在、市町村で、この標準例に基づいて基準の見直し作業が行われていて、基準が引き下げられる危険性もあります。基準の引き下げに反対し、拡充させることが求められます。

緊急でオンライン学習会を行います。是非、ご参加ください。



日時 6月3日(木)11時から12時

講師 三浦 誠一氏(道生連会長)

参加を希望される方は、下記のURLを開くと、申し込みフォームで申し込みください。 <http://urx.red/tWIo>

また、右のQRコードから申し込みください。

後日、参加のためZoom情報や資料を送付させていただきます。



北海道社会保障推進協議会

〒001-0014 札幌市北区北14西3-1-12

☎011-758-2648 Eメール shahokyo@dominiren.gr.jp